

経済指標レポート 第243号

(社) 関西経済連合会 経済・経営グループ (担当: 壺井)

Tel: 06-6441-0102 Fax: 06-6441-0443

総務省が4月15日に発表した2007年10月現在人口推計によると、日本の総人口は1億2777万1千人で前年度と比べほぼ横ばいとなった。自然増減の数を見ると、出生児数が死亡者数を約2千人下回り、比較可能な1950(昭和25)年以来初めて自然減少に転じている。

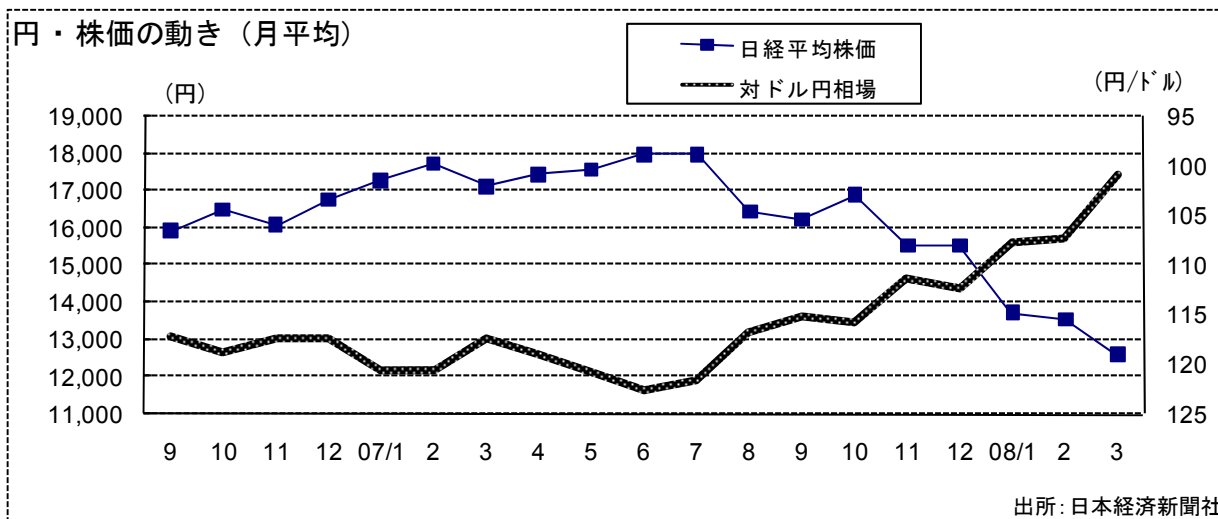
地域別の増減を比較すると大都市圏への人口集積傾向が鮮明に現れており、「東京圏」(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)には国内全人口の27.3%が、「名古屋圏」(愛知県・岐阜県・三重県)には8.9%、「大阪圏」(大阪府・兵庫県・京都府・奈良県)には14.4%がそれぞれ集積していることが分かった。しかし、三大都市圏で比較すると東京圏、名古屋圏は一貫して増加しているのに対し大阪圏のみが減少傾向を辿っている。

関西社会経済研究所が試算した2025年の人口予測によると、2005年からの20年間で中部地区は98万人(減少率5.7%)、関東地区は2万人(減少率はほぼゼロ)の人口が減少するのに対し、関西地区は201万人(減少率9.3%)減少すると見込まれている。さらに中部・関東が2015年ごろから人口減少が始まると予測されているのに対し、関西は既に2004年から人口減少が始まっており、早い水準で人口が減少していくことが分かる。

その要因として考えられるのは関西の域内経済の他地域への流出、それに伴う働き盛り層の流出である。今後一層、地域が自立的に強い産業を牽引し、これを持続させていくことが求められる。

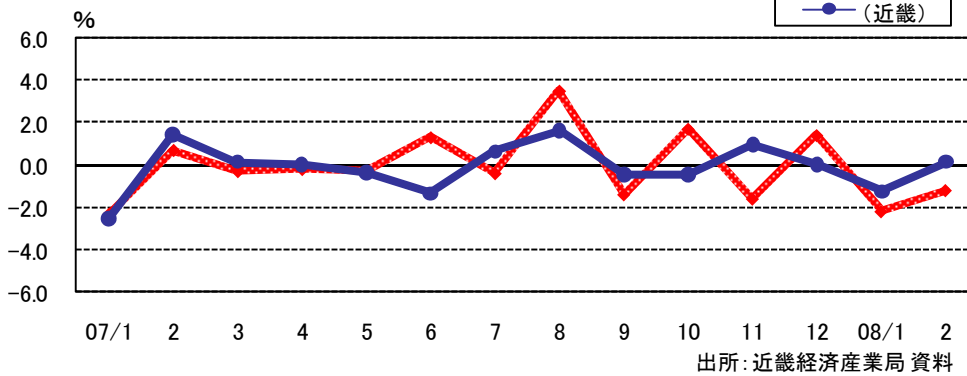
さらに、人口減少という問題に既に直面している関西だからこそできる先進的な取り組みが多く生まれ、世界の手本となる新たなビジネスモデルが発掘されることを期待したい。

各指標の動き



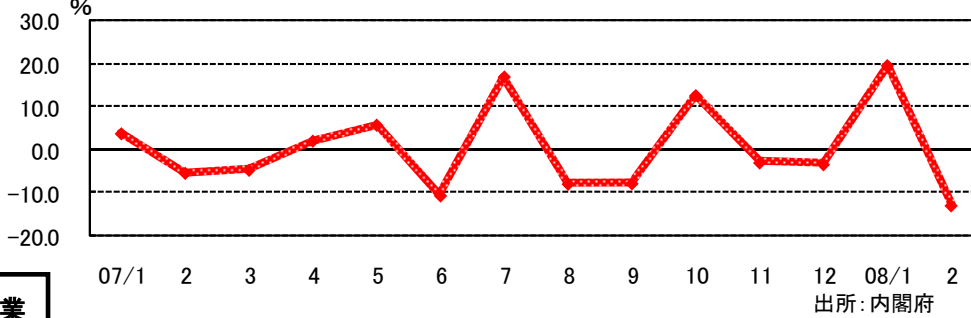
生産・機械受注

鉱工業生産指数（前月比）



◇近畿は前月比 0.2%増と 2 ヶ月ぶりに増加。一般機械工業、鉄鋼業、その他工業の増加が寄与。品目別ではコンベヤ、リチウムイオン蓄電池、ガスタービンの順に上昇。

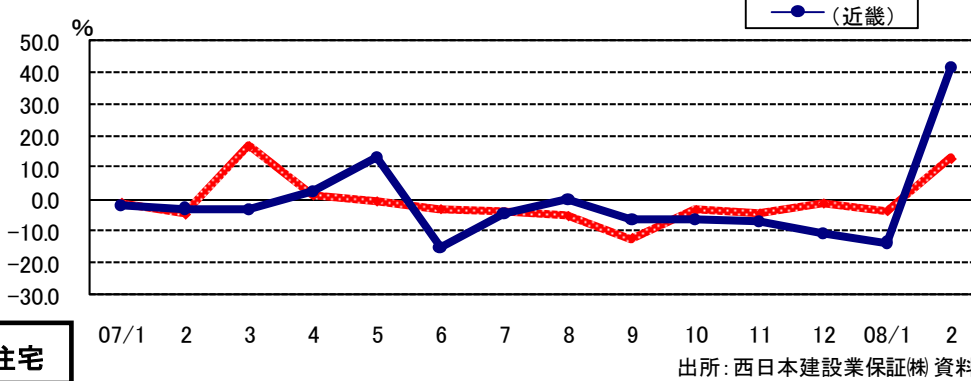
機械受注：船舶・電力を除く民需（前月比）



◇機械受注は前月比 12.7%減となった。業種別の受注は製造業が同 13.2%減、非製造業（船舶・電力を除く）が 13.3%減となった。

公共事業

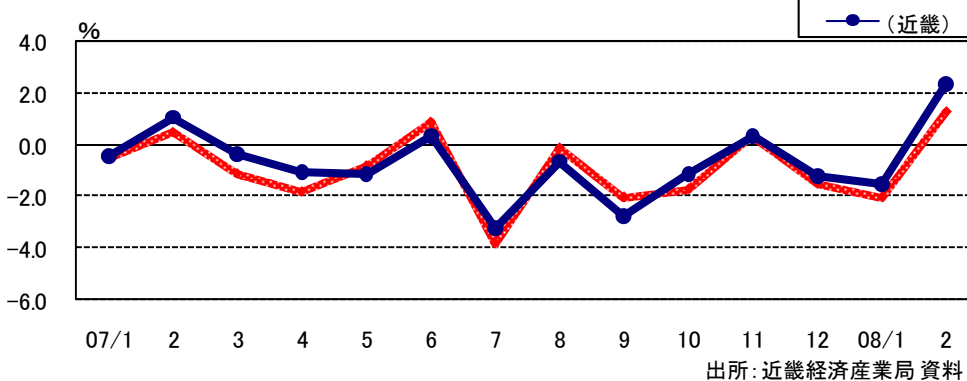
公共工事請負金額（前年同月比）



◇近畿は前年同月比 41.8%増。近畿地方整備局の大型工事（奈良・白屋地区地すべり対策工事、滋賀・石樽トンネル工事）で大幅に増加。

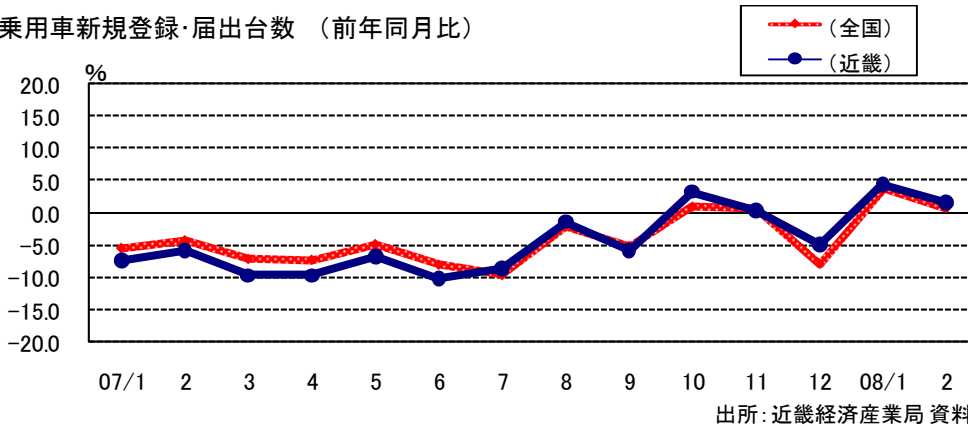
消費・住宅

大型小売店販売額（前年同月比）



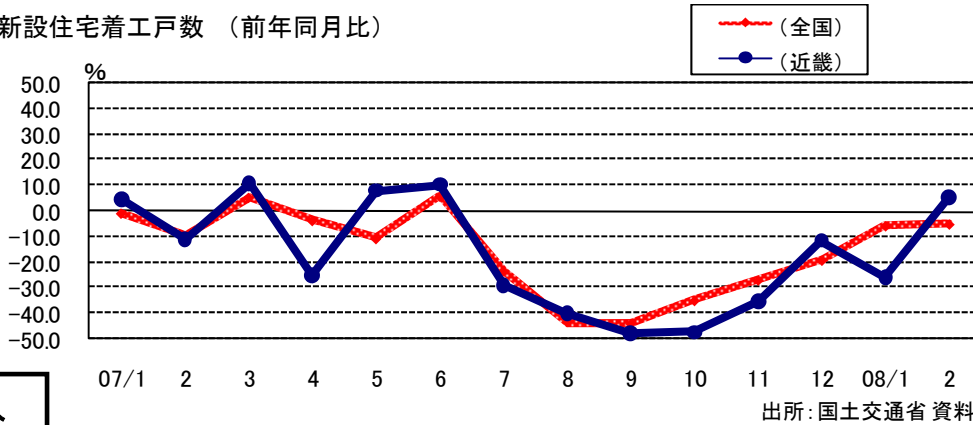
◇近畿は既存店ベースで前年同月比 2.4%増と 3 ヶ月ぶりのプラス。うるう年により日数が 1 日増えた影響もあり。業態別ではスーパー・百貨店ともに同 2.4%増。

乗用車新規登録・届出台数 (前年同月比)



◇近畿は前年同月比1.8%増と2ヶ月連続で前年を上回った。小型車が23ヶ月連続で、軽四車が11ヶ月連続で前年を下回ったものの、普通車が8ヶ月連続で前年を上回った。

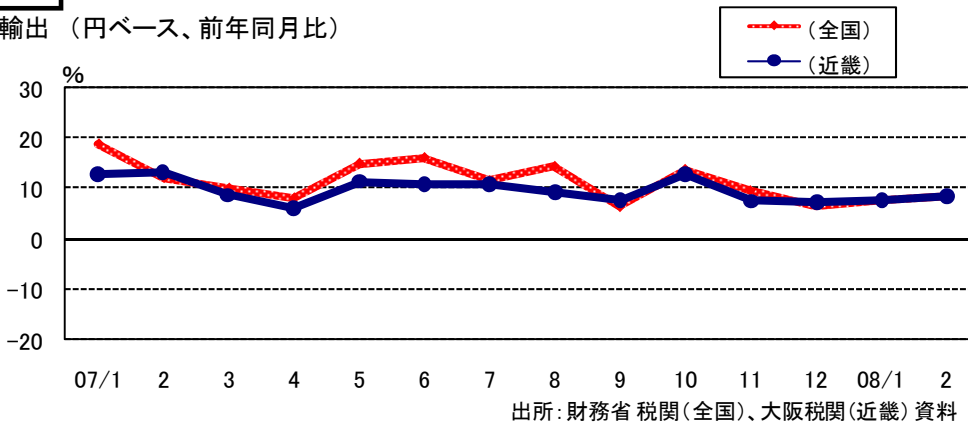
新設住宅着工戸数 (前年同月比)



◇近畿は前年同月比5.3%増となり8ヶ月ぶりに前年を上回った。分譲住宅が8ヶ月連続、持家が13ヶ月連続で前年を下回ったものの、貸家が8ヶ月ぶりに前年を上回った。

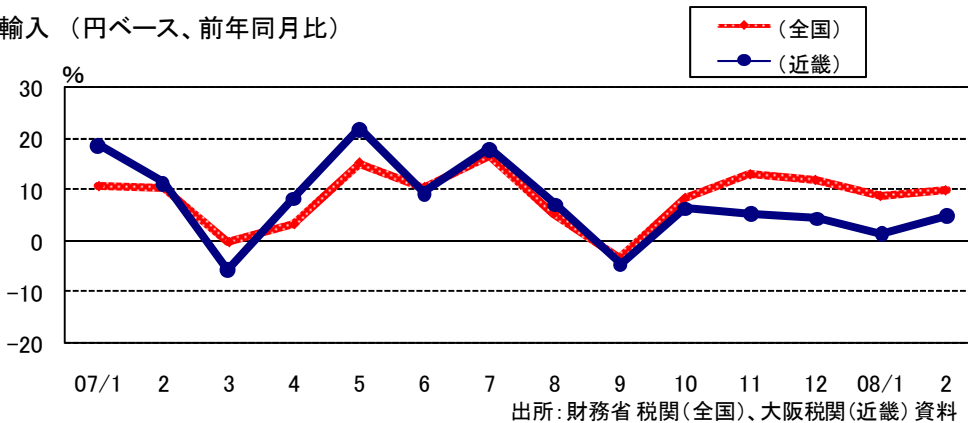
輸出入

輸出 (円ベース、前年同月比)



◇近畿は前年同月比8.6%増で71ヶ月連続のプラスとなった。建設用・鉱山用機械(特にエキスカベーター)の伸びが大きい。
※エキスカベーター・・・油圧ショベルなどの掘削機械。

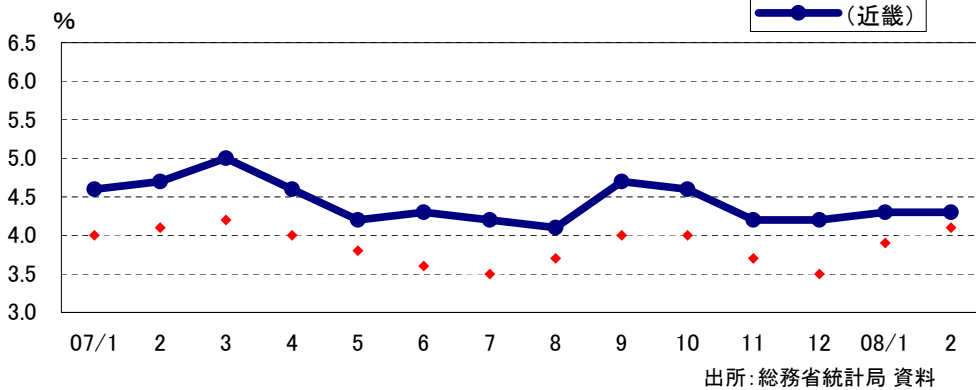
輸入 (円ベース、前年同月比)



◇近畿は前年同月比5.0%増となり、5ヶ月連続のプラスとなった。原油、液化天然ガス(LNG)の単価の上昇などにより輸入額が増加。

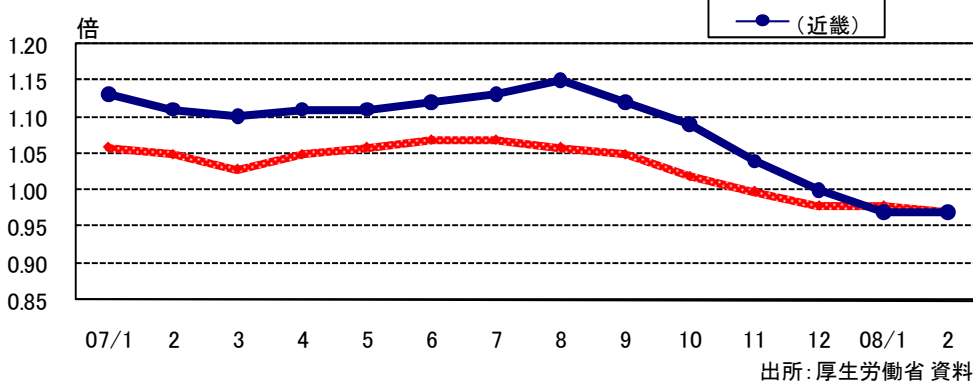
雇用・倒産

完全失業率（全国・近畿ともに原数値）



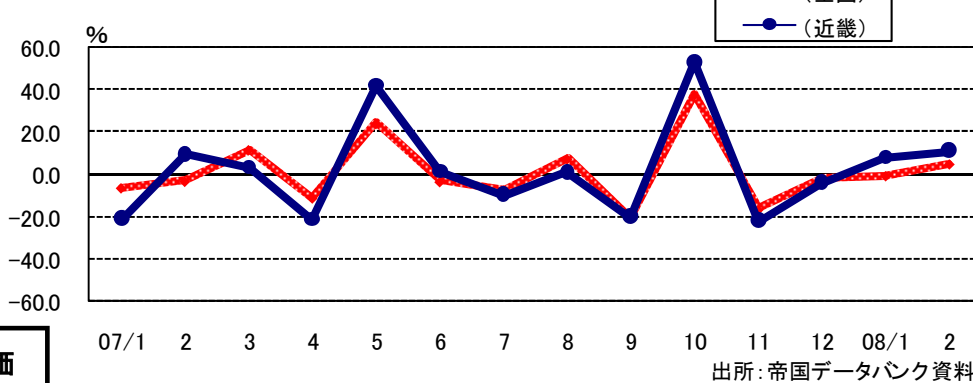
◇近畿の完全失業率は4.3%で、2ヶ月連続で前年を下回った（前年同月は4.7%）。全国4.1%。

有効求人倍率



◇近畿は前月と変わらず0.97倍となった。6ヶ月連続の低下。改善の動きが停滞している。

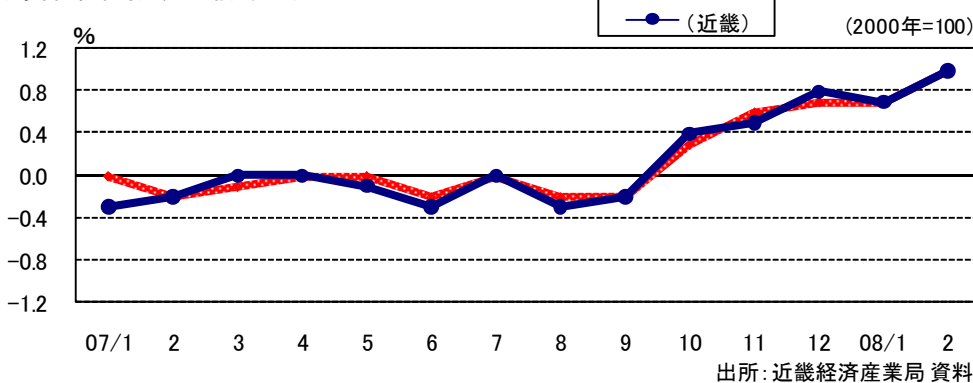
企業倒産件数（前月比）



◇近畿の倒産件数（法的整理による倒産）は前月比11.3%増。業種別構成比ではサービス業が26.2%、次いで建設業の24.8%と、両者で過半数を占めている。

物価

消費者物価指数（前年同月比）



◇近畿は100.2で前年同月比1.0%増。5ヶ月連続で上昇している。交通・通信、光熱・水道、食料をはじめとして、ほぼ全ての分野で上昇している。